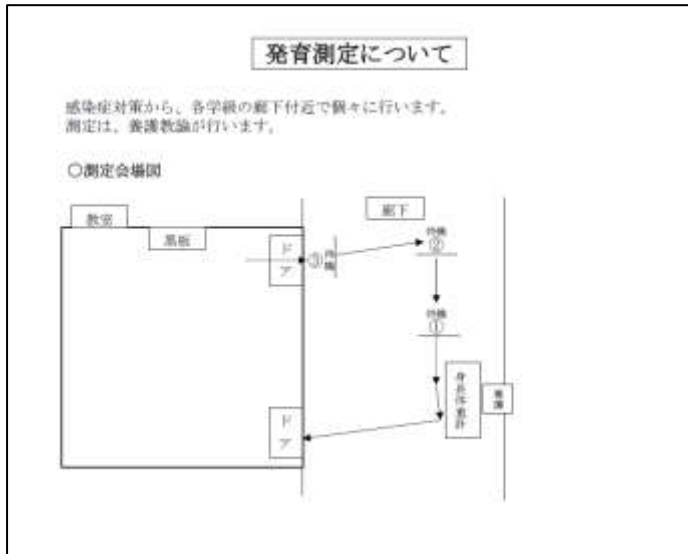


2：健康診断①（小学校）

取組内容	テーマ	3密を避けた健康診断（発育測定）		
	取組に至った経緯	<p>感染防止対策として3密を避けた発育測定を行うため、養護教諭が測定機器を持って各教室前に移動し、廊下で個々に測定する出張型発育測定を実施した。</p> <p>「学校再開に伴う感染症対策・学習補償等に関わる支援事業費」から身長体重一体型の測定機器を購入したことで、測定は養護教諭一人で行うことができ、測定中も学級担任は授業が可能となる。児童は学習をしながら、自分の順番になったら廊下で測定し、終了次第、教室に戻り学習を続けられるようにした。</p>		
	実施時期	年間	補足資料	有
成果と課題	成果	<p>感染対策とともに学習時間を確保しながら発育測定を行うことができた。また、個別に行うため、身長体重の増減の変化をその場で養護教諭が確認しながら行えた。</p>		
	課題等	<p>発育測定前の保健教育の時間が確保できなくなったことが課題だが、その分、特別活動等で学級担任と協力して養護教諭が授業に入り、集団の保健教育を行った。</p>		

「3密を避けた健康診断（発育測定）」

1 教職員向け資料（一部抜粋）



2 発育測定実施写真



ソーシャルディスタンスを確保するための待機場所の掲示



3 保健だよりで保護者へ周知（一部抜粋）

発育測定の結果について

6月に、発育測定を行いました。いつもは、保健室でクラスごとに行いますが、今回は、感染症対策のため、測定機器を移動し、各クラスの廊下付近で密を避けて行いました。

長い休校が続いたため、生活習慣や食生活が変化したこと、外出自粛で運動も制限されていたことから、体重の増加が心配な児童もいました。

7月中に、健康カードを配布します。家に持ち帰りましたら、親子で確認してみてください。今回の測定結果により、心配がある児童には、個別にお知らせすることもあります。

平均値	男子		女子	
	身長 cm	体重 kg	身長 cm	体重 kg
1年生	117.3	21.1	115.9	21.1
2年生	123.3	25.2	123.7	25.6
3年生	129.7	28.7	130.5	29.8
4年生	136.6	33.0	137.4	33.4
5年生	138.9	34.5	140.3	35.1
6年生	145.1	40.6	149.3	43.1

2 : 健康診断② (中学校)

取組内容	テーマ	安全な健康診断の実施		
	取組に至った経緯	<p>感染症対策を行って検診を実施する必要性から、学校医と相談し、対策を練った。第一に飛沫感染防止を掲げた。また、一方通行を原則とし、入室人数を制限した。</p> <p>スムーズな進行のため教職員への伝達の仕方を工夫して行った。ジェスチャーや、小型のホワイトボードで極力声を出さない工夫を行った。</p> <p>生徒には医師への声出しの挨拶は無しという共通理解のもと、礼儀としての軽いお辞儀は可とし、意義を高めた。</p>		
	実施時期	令和3年4月	補足資料	有
成果と課題	成果	<p>生徒、教職員間の完全な共通理解のもと、検診において感染症予防のための共通行動をとることができた。学校医の先生にも安心、安全に実施できたこと、生徒の態度にお褒めの言葉をいただいている。</p>		
	課題等	<p>検診の実施意義、検診可能な時期など、配慮事項が多い。イレギュラーなことは、ホワイトボードを駆使した。生徒への指示用の大きなカードを作成する必要があった。特別支援学級の生徒などについては特に事前の説明や声掛けが必要である。</p>		

「検診の安心、安全な実施」

変更版眼科検診実施計画 会話ゼロアイコンタクトで

学校医からのご要望、注意事項をいただいています。飛沫感染防止のため、生徒は3名のみ被服室へ入る。一人終了したら被服室東側より教室へ戻り、一人被服室西側より中に入るという流れ。あいさつも絶対にしない。声を出さない。

職員は〇〇のみ。引率者、待機指導の先生は廊下で。生徒もしゃべらない、先生もしゃべらない。

指示なども筆談や（ホワイトボード用意します）身振り手振りをお願いします。

- 1 日程 6月10日（木） 10時から **R3年度は9時50分スタート 10時40分終了**
- 2 対象 全学年
- 3 会場 被服室 カーテンを閉める 対角線上の窓をあける アルコール、手袋箱先生のそば
待機場所 調理室 椅子に座って間隔をとるようにしてください

被服室では2メートル間隔で待つ、テープを張る予定

よって、次のクラス以降は、適宜廊下窓側で待機する。椅子を並べ、間隔をとって並ぶ予定。

4 検診順序・引率者

引率者は廊下でお願いします

〇〇先生 社会

3-1 9:50 検診場所 調理室

〇〇先生 理科

3-2 9時55分教室出発 男女混合出席番号順

次のクラスは、調理室で待つようお願いします。

〇〇先生 国語

3-3... 10:00廊下待機

授業担当者は検査が流れ始めたら、教室へ。
待機指導者はスタート前の待機についても2時間目の先生をお願いします。

	2時間目		3時間目	
	引率者	待機指導	引率者	待機指導
2の1				
2の2				
2の3				

*男女混合名簿でお願いします。

5 事前指導

朝の会で指導を。

眼鏡をしている人は、前の人の番でとって用意。前髪が目にかかっている人は自分の手でわけておさえる。座って検診。☆あいさつはしない。（飛沫感染予防）おじぎ、会釈はOK。

2：健康診断③（高等学校）

取組内容	テーマ	健康診断における感染症対策の工夫		
	取組に至った経緯	<p>学校における保健管理の中核である健康診断は、養護教諭の重要な職務役割の一つである。令和2年度は、緊急事態宣言を受けて臨時休業の措置が取られたため、定期健康診断の延期が余儀なくされた。健康診断を延期する場合の対応や、新しい生活様式を踏まえた、安心安全かつ効率的に健康診断を実施するための方法を検討した。</p>		
	実施時期	年間	補足資料	有
成果と課題	成果	<p>学校医との連携、教職員の共通理解のもと、「新しい生活様式」での健康診断の方法を確立できた。生徒の待機位置や動線を明確にするなど、感染症対策のために環境を整える「構造化」を行うことで、従来よりもスムーズに実施できた検診もあり、afterコロナでも継続して実施していきたいと考える。</p>		
	課題等	<p>感染症対策として十分であるか、逆に過度な対応となっていないか、見直しが必要である。養護教諭一人の判断ではなく、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」、感染防止対策ガイドライン、学校医・学校歯科医・学校薬剤師からの指導助言を対応根拠とし、教職員や保護者の共通理解を図り協力を得て実施していく必要がある。</p>		

自校の健康診断における感染症対策の工夫

	各項目の感染防止対策※	共通する感染症対策
身体測定	前：学年ごとに体育館で行う 生徒は指定された時間に 一斉に移動 後：2学級ごとに分けて体育館 で実施。学級を入れ替える 際、廊下の混雑を避けるた め、放送で対象学級の呼び 出しを行う。また、西階段と 東階段を利用し、生徒の移 動ルートを指定	【学校医との十分な打ち合わせ】 ・学校医用の手指消毒用アルコール、マスク、防護 メガネ、手袋、ガウン等について、使用の有無、 着脱のタイミング、必要数を確認する ・感染対策、検診の流れ、目安時間を確認する ・保健調査票に追加すべき項目があるか確認する 【教職員の共通理解】 ・実施方法、時間の目安、生徒への指導事項につい て、わかりやすい資料となるよう工夫し、共通理 解を図る
視力検査	前：遮眼器を使用 後：黒い画用紙を切ったものを 生徒に配付	・健康診断が未実施のうちは、体育の活動について 配慮を行う 【生徒及び保護者】
聴力検査	後：検査会場を増やす 一人の検査が終わるごと に検査実施者がアルコー ル消毒を実施	・健康診断の実施方法、未受診となった場合の対応 等を保健だよりに記載する ・保健調査票の活用等により生徒の健康状態の把 握に努めるとともに、必要に応じ、定期健康診断 を待たずに個別の健康相談や保健指導等の対応 も行う
内科検診	後：検診日を1日増やす 必要な生徒は、検診日を待 たずに学校医による健康 相談を行う	・日々の健康状態の確認を徹底する ・検診前後の手指消毒を徹底する
耳鼻科検診	後：令和2、3年度は口腔・咽 頭の観察は省略し、保健調 査で対応する	【感染症対策・効率よく実施するための工夫】 ・部屋の適切な換気に努める（対角線上に窓がない 会場や、プライバシーを確保しなければならない 検診では、サーキュレータを設置） ・使用する会場ごとに、環境条件を考慮し、会場に 入れる人数を決めておく ・会話や発声をできる限り控えるよう生徒に指導 （学校医への挨拶はお辞儀とする） ・可能な限り会場は一方通行にする（生徒の待機位 置及び動線が明確になるよう、床にテープを貼っ ておく。また、矢印等の掲示を増やす） ・日程を分けて実施できるか検討する ・検査に必要な器具等を適切に消毒
眼科検診	前：眼瞼結膜を観察するため、 生徒に自分で「下瞼」を 下げさせる 後：コロナ以前と同様に実施	
歯科健診	後：コロナ以前からダブルミラ ーで実施 健診の直前でマスクを外さ せる他は、コロナ以前と同 様に実施 マスクを外した状態で話を しないよう指導する	

※前：コロナ以前の実施方法 後：感染症対策後の実施方法